

「脱ムダ」で市政を変える！ 市政改革を前へ、前へ  
小金井市議会議員／情報公開こがねい

# 週刊 渡辺大三 NEWS



【会派 NEWS】 2020(令和2)年 12月3日 週刊 vol.67

【ご意見ご要望はお気軽に】 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301

T 090-3345-6929 F 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

公式サイト daizou.org (Twitter、facebook には公式サイトからアクセスできます)

## 多摩 26 市中で 2 番目、近隣市中で 1 番目

# 高すぎる！ 都市計画税率

## 渡辺大三、段階的引き下げへ向け修正案提出へ

11月30日から、令和2年第4回定例会(12月定例議会)が始まりました。重要案件に関しまして、「週刊渡辺大三 NEWS」で随時内容をお知らせ申し上げます。

12月定例議会に、西岡市長は、来年度(令和3年度)以降3年間、都市計画税の税率を現行の0.27%に据え置くとの条例案を提出しました。

本年度(令和2年度)と来年度(令和3年度)の小金井市及び近隣市の都市計画税率は、以下のようになります。固定資産税と抱き合わせで課税されるのが都市計画税なのですが、市によってかなり税率が違うのです。小金井市は市民に知られたくないのか、こういう数字を市報には載せません。

※令和3年度は予定。※平均は小金井市を除く8市の平均。「検討中」の場合、従前の率で平均値を求めた。

多摩26市の中で一番税率が高いのは東村山市で0.29%です。小金井市の0.27%は二番目に高い税率となります。近隣市の中では、小金井市と国分寺市の0.27%が最も高い税率となっています。

西岡市長の提案は、要するに、多摩26市で2番目に高率で、近隣市では最も高い税率を今後も続けるということを言っているわけです。

選挙公約に反して、市役所の人件費を大幅に増やしてしまった西岡市長・・・市民からは今後もがっかり搾り取るということのようです。

## 武蔵野市や国立市は引き下げ 小金井市も一定の努力を

左表でも明らかなおとおり、武蔵野市や国立市は、来年度、都市計画税率を引き下げます。

新型コロナウイルスで市民生活へも多大な影響が出ており、減税で市民負担を軽減しようという姿勢は評価できます。

そこで、私は、高すぎる都市計画税率を見直して、近隣市平均に近づけていくため、段階的に都市計画税率を引き下げること内容とした修正案を作成しました。

西岡市長が提出した条例案が審査される予定

	令和2年度	令和3年度
小金井市	0.27%	0.27%
武蔵野市	0.20%	0.10%
三鷹市	0.225%	検討中
調布市	0.24%	検討中
府中市	0.20%	検討中
国分寺市	0.27%	検討中
国立市	0.27%	0.25%
小平市	0.24%	検討中
西東京市	0.25%	0.25%
平均	0.236%	0.221%

の総務企画委員会(12月10日)に修正案を提出する予定です。他会派にも共同提出を呼びかけます。

私が作成した修正案の内容は以下の通りです。

- ① 令和3年度の税率は「0.26%」とする。
- ② 令和4年度及び令和5年度の税率は「0.25%」とする。

税率を「0.01%」下げた場合、小金井市全体で約7000万円の減税となります。「0.02%」なら約1億4000万円となります。

固定資産税や都市計画税は、小金井市の価値が上がれば、資産価値が上昇して、増収となります。他市より高い税率で増収を狙うのではなく、市長は、総体として小金井というまちの価値を高める努力をすべきです。

## コロナ対策の「プレミアム付商品券」事業 実施する4市の内容に大きな違い 「市民満足度」の観点で、今後レベルアップを求めます

	発行総額	プレミアム率	購入限度
三鷹市	15億0000万円	50%	一人3万円
府中市	36億4000万円	40%	一人5冊 ※1冊1万円
調布市	26億0000万円	30%	一世帯5冊 ※1冊1万円
小金井市	2億6000万円	30%	一世帯3冊 ※1冊1万円

※4市の人口は、三鷹市190,183人、府中市261,047人、調布市237,898人、小金井市122,862人。

朝の駅前で「週刊渡辺大三 NEWS」を配布してありましたら、新型コロナウイルス感染症対策で実施される「プレミアム付商品券」発行事業に関してご不満のご意見をいただきました。そこで、近隣市の中で発行事業を実施する4市の事業内容を調査してみました。

その結果が、上掲の表になります。

第一に、発行総額を見ますと、小金井市以外の3市は15億円から36億円となっており、人口の違いを加味して考えても、小金井市とは比較にならないほど大きな額となっています。桁が違います…。

市民一人あたりで換算しますと、三鷹市は7887円、府中市は1万3943円、調布市は1万929円、小金井市は2116円となります。

第二に、プレミアム率についても、小金井市は最低の30%となっています。市からの支援率が低いということです。

第三に、購入限度の設定についても、小金井市は最低の一世帯3冊までとなっています。家族の多い世帯、お子さんのいる世帯にとっては、厳しい内容です。

なぜこのような差が生じたのか…西岡市長から特段の説明はありませんが、市民生活も厳し

さを増しておりますので、他市とあまりにもレベルが違う事業内容では、「市民満足度」の観点で問題が多いと思います。

今後もコロナの影響は続きますので、レベルアップを提案していきたいと思います。

### ◆渡辺大三略歴◆

1966年5月2日、岩手県水沢市(現:奥州市)に生まれる。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、小学3年生(9歳)から小金井市在住。

小金井市立本町小学校・小金井市立小金井第一中学校(桜町)、東京都立小金井北高等学校(緑町)、中央大学法学部を卒業。

株式会社河北新報社(本社:仙台市)に就職し、新聞記者。衆議院議員秘書を経て、男性最年少の26歳で小金井市議選初当選(以降7期連続当選/最近4回の選挙はいずれも無所属で立候補)。

【現在】小金井市の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会」幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。市民団体「庁舎と福祉会館の建設を考える会」役員。中央大学学会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。